



幼保小連携による コーディネーション運動の推進

心と体をつなぐ ～生きる力を育む体育学習を目指して～

登戸小学校 研究推進委員会
令和8年度

アプローチの転換：課題を「のびしろ」に変える

本校の研究主題は「心と体をつなぐ～生きる力を育む体育学習を目指して～」。各単元の冒頭に「コーディネーション運動」を導入することで、子供たちの眠っている可能性を開花させます。



従来のアプローチ

課題（できないこと）へのフォーカスは負のループを生む。

本研究のアプローチ

子供の「のびしろ」に運動の刺激を掛け合わせ、行動・心・学びに向かう姿勢を根本から変容させる。

コーディネーション運動がもたらす3つの成長

単なる体力向上ではなく、「体」「心」「頭（認知）」の3つの次元から、子供たちの発達を統合的に支援します。



【体】身体操作性の向上

不器用さの克服、姿勢保持の課題解決、自分の身体を思い通りに動かす「調整力」。



【心】自己肯定感の醸成

「できた！」というスモールステップによる成功体験。失敗を恐れず挑戦する意欲の育成。



【頭】認知力・予測力の向上

状況を見て次に何をするか予測する力、他者との協調性（賢い体の使い方）。

日常への落とし込み：冒頭5分のルーティン化

特別なイベントとして時々実施するのではなく、毎回の授業の「当たり前」に組み込むことで効果を最大化します。



【0～5分】 コーディネーション運動（予備運動） ★本研究の肝



【5～10分】 学習のねらい・めあての確認



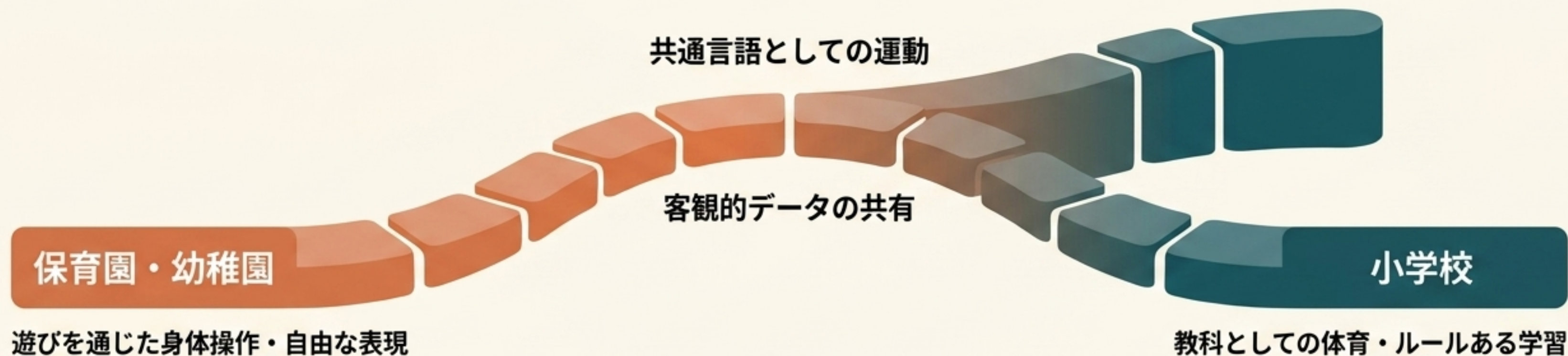
【10～40分】 本時の学習（ゲーム・器械運動など）



【40～45分】 ふりかえり

幼保小連携：データと知見でつなぐ「小1プロムナード」

登戸小学校単独の研究で終わらせず、皆様と共に子供たちの成長を連続的に支える「共同研究」をご提案します。



提案1：接続（プロムナード）の円滑化

幼児期の「遊び」と小1の「学習」の段差を、コーディネーション運動という共通の取り組みで滑らかに繋ぐ。

提案2：客観的データの共有と活用

本校で実施する「認知力を問うアンケート(年3回: 7月, 11月, 2月)」および「スポーツテスト(年2回: 7月, 2月)」の変容データをフィードバック。就学前指導の新たなヒントとして共有します。

一緒に体験しませんか？：年長さん向け特別体験会

入学前の不安を期待に変えるため、実際に小学校の体育館で
コーディネーション運動を体験する場を設けます。

Invitation Card



日時: 令和8年11月25日 (水)
14:00 - 15:00



対象: 近隣の保育園・幼稚園の年長児の皆様、
および先生方

内容: 本校教員によるコーディネーション運動
の体験セッション

目的: 「小学校の体育って楽しい!」という入学へ
の期待感と、学校環境への安心感の醸成。

地域全体で、子供の「のびしろ」を育む

子供たちにとって、保育園・幼稚園での生活と小学校での生活は、ひと続きの大切な人生です。連携会議を通じて、皆様と共に子供の姿を変える「かけ算」を作っていきたいと願っています。

幼保の
愛情・遊び

×
小学校の
学び

×
地域・
家庭

=
未来を
生きる力

「点（単独の教育）」から「線（幼保小連携）」へ、そして「面（地域全体）」へ。
皆様のご来校を、本校教職員一同、心よりお待ちしております。いつでもお気軽にお越しください。